

逼迫する救急医療

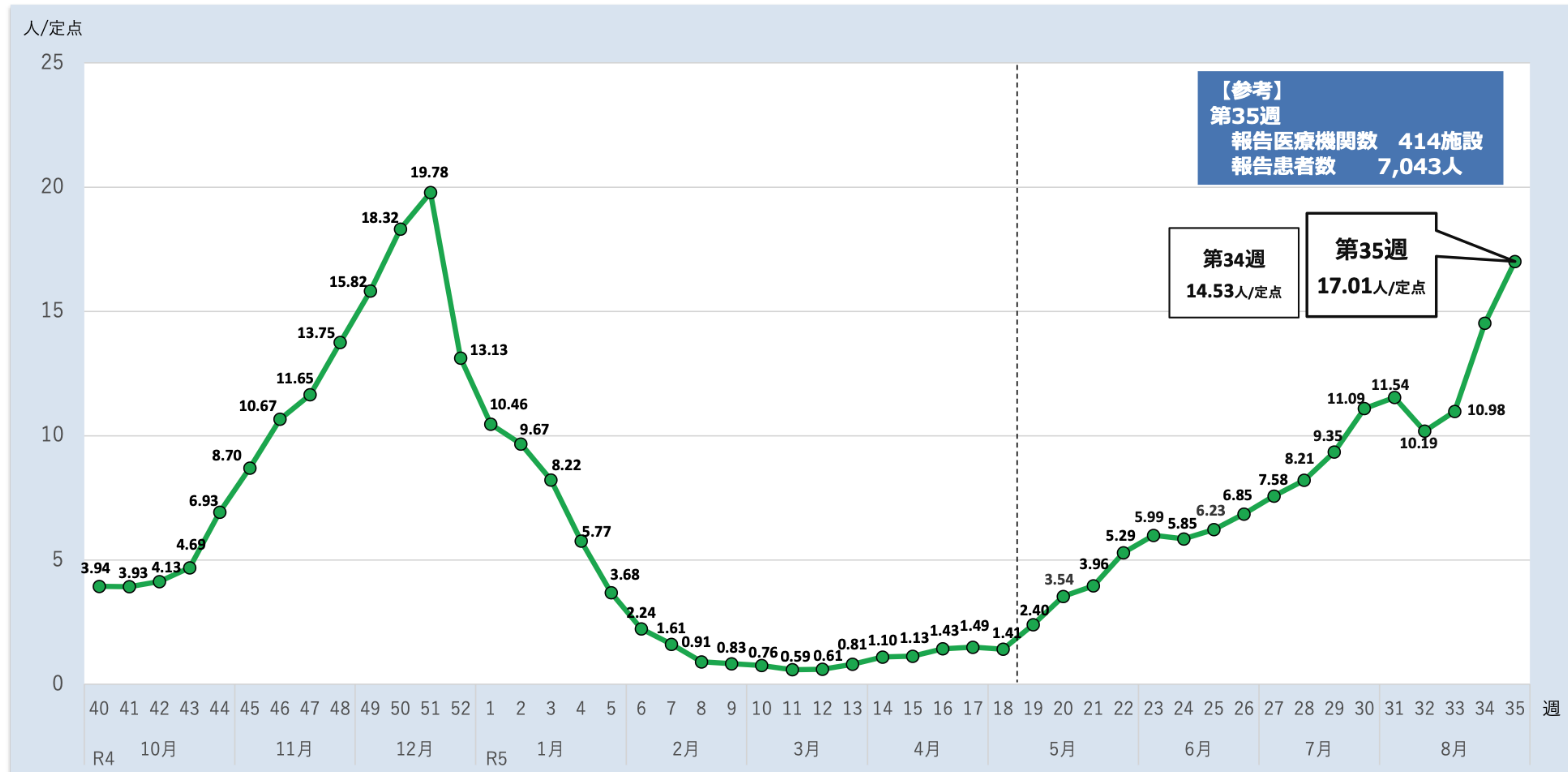
サージキヤパシティとしての 危機対応施設

2023年9月12日 定例記者会見 土谷明男



新型コロナウイルス感染症

①-1 定点医療機関当たり患者報告数



患者報告数は増加

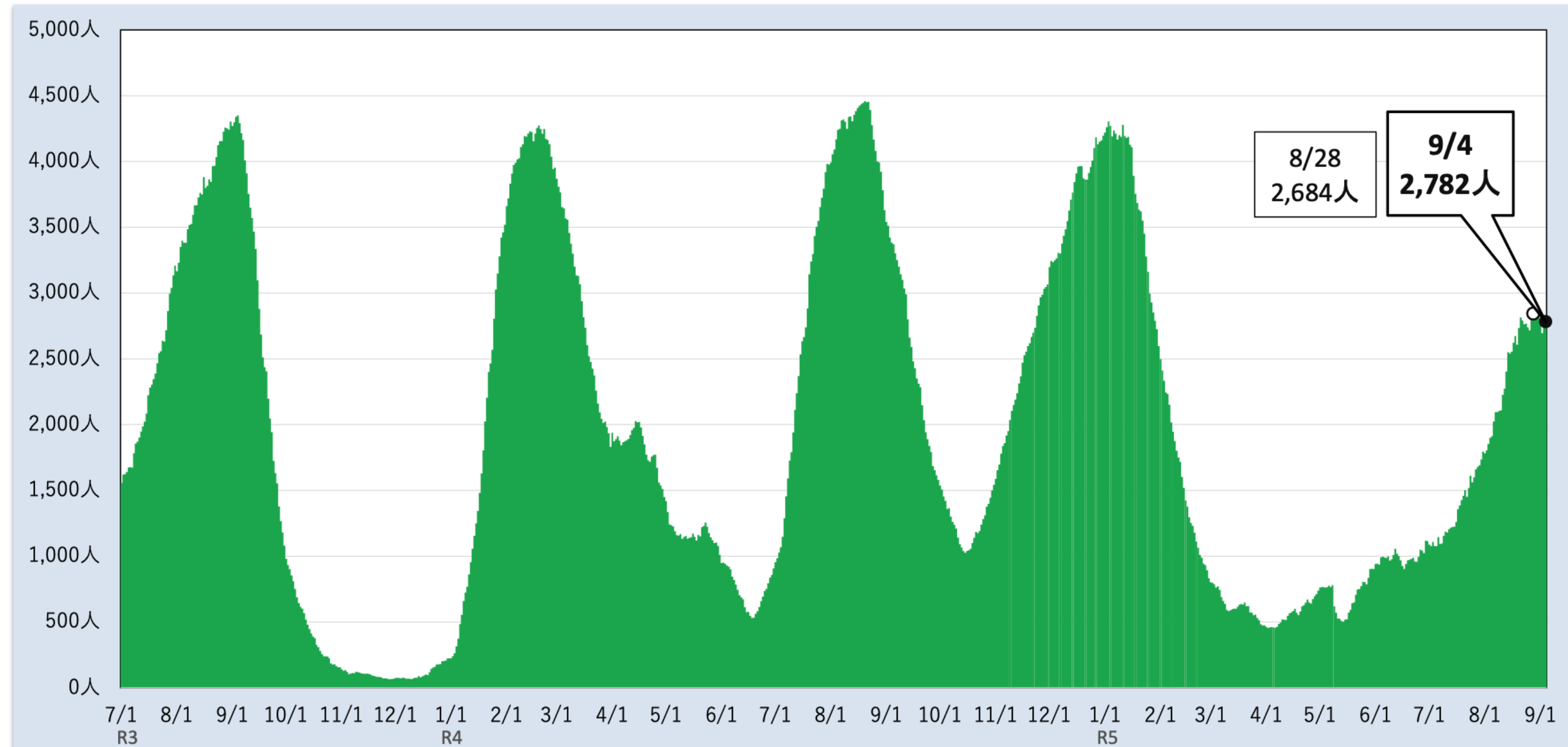
(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

2

東京都モニタリング分析【令和5年9月7日公表】

新型コロナウイルス感染症

④ 入院患者数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

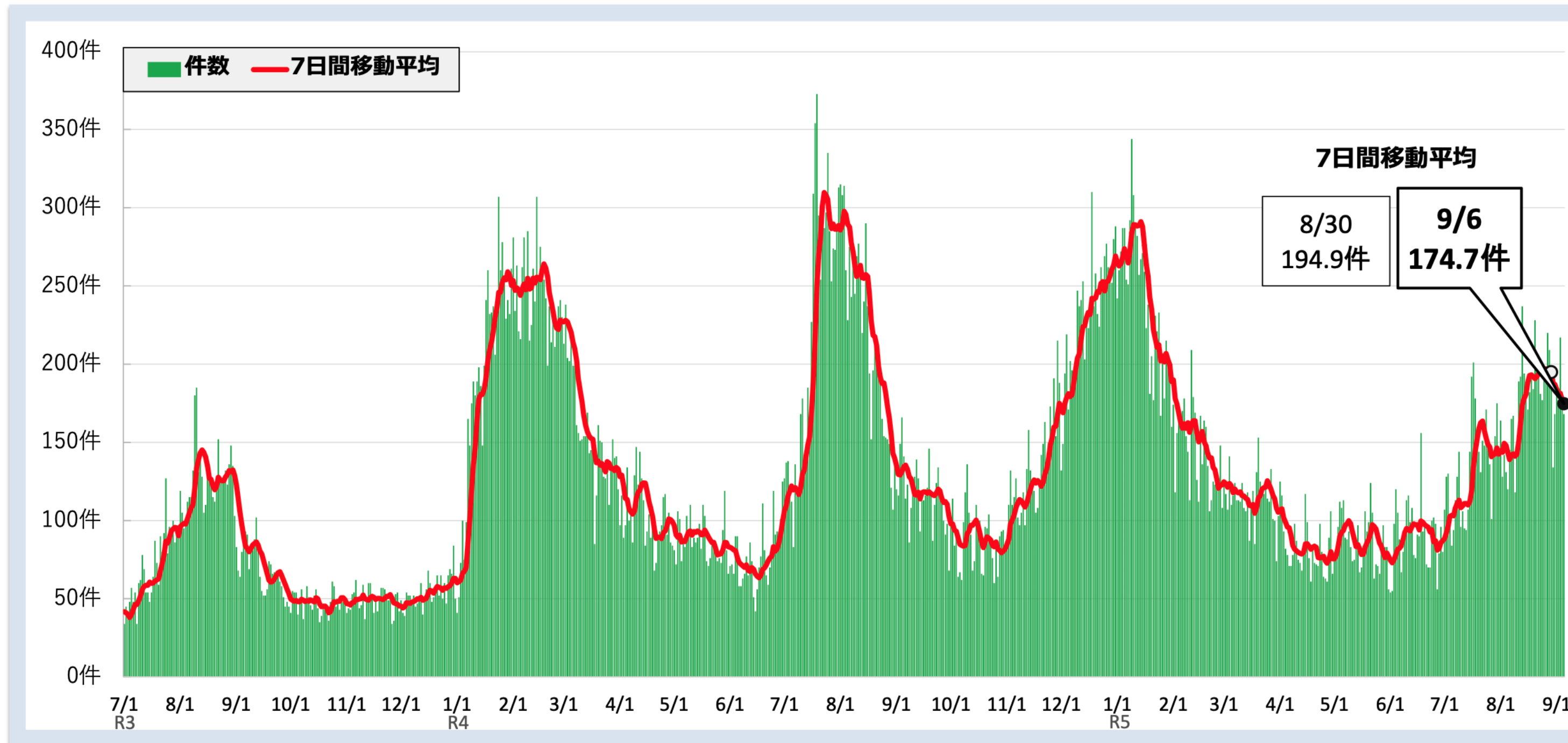
8

入院患者数は増加

東京都モニタリング分析【令和5年9月7日公表】

新型コロナウイルス感染症

③ 救急医療の東京ルール適用件数



東京ルール適応
件数は増加

(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

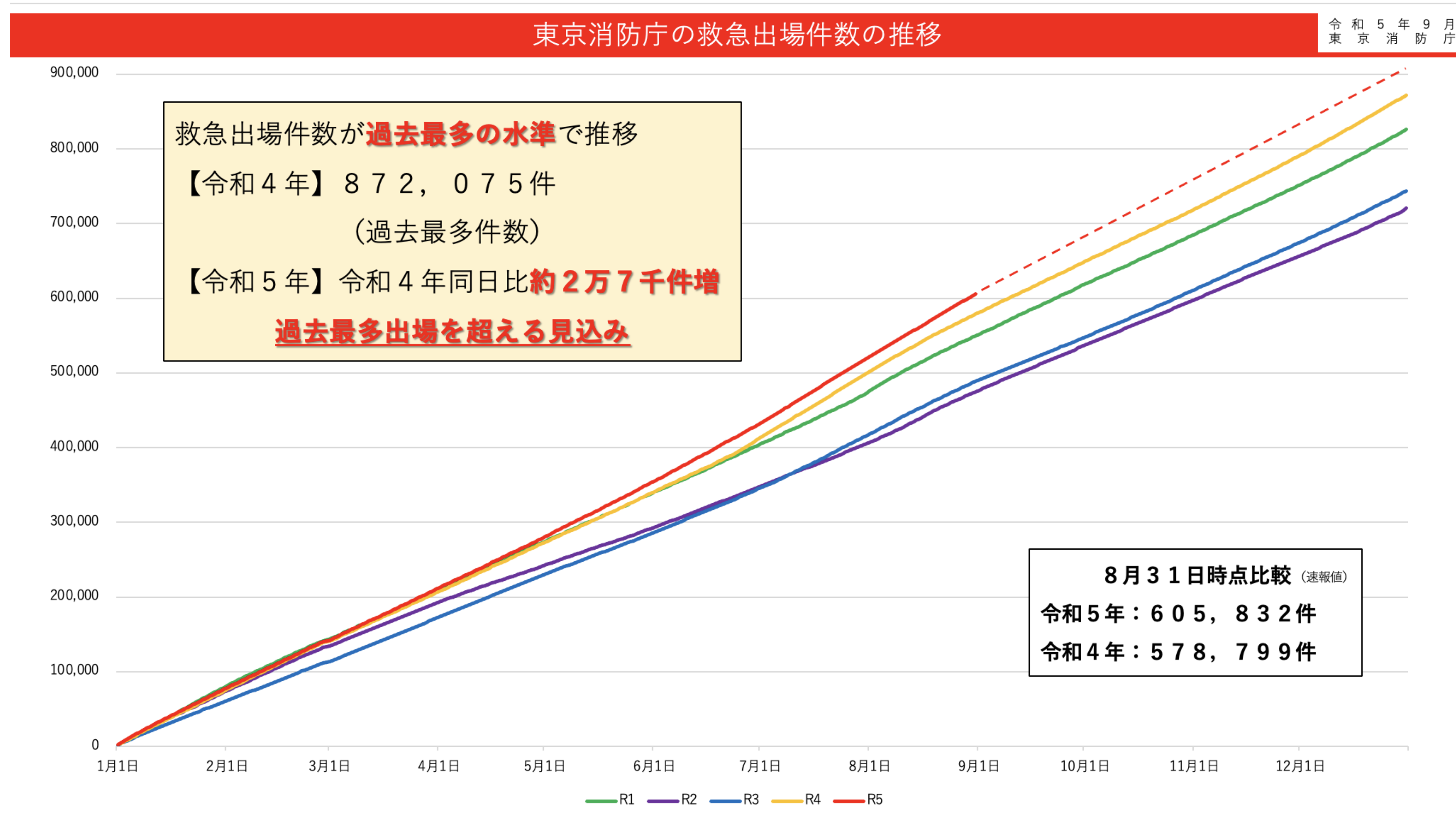
7

東京都モニタリング分析【令和5年9月7日公表】

増加する救急隊の出動



増加する救急隊の出動

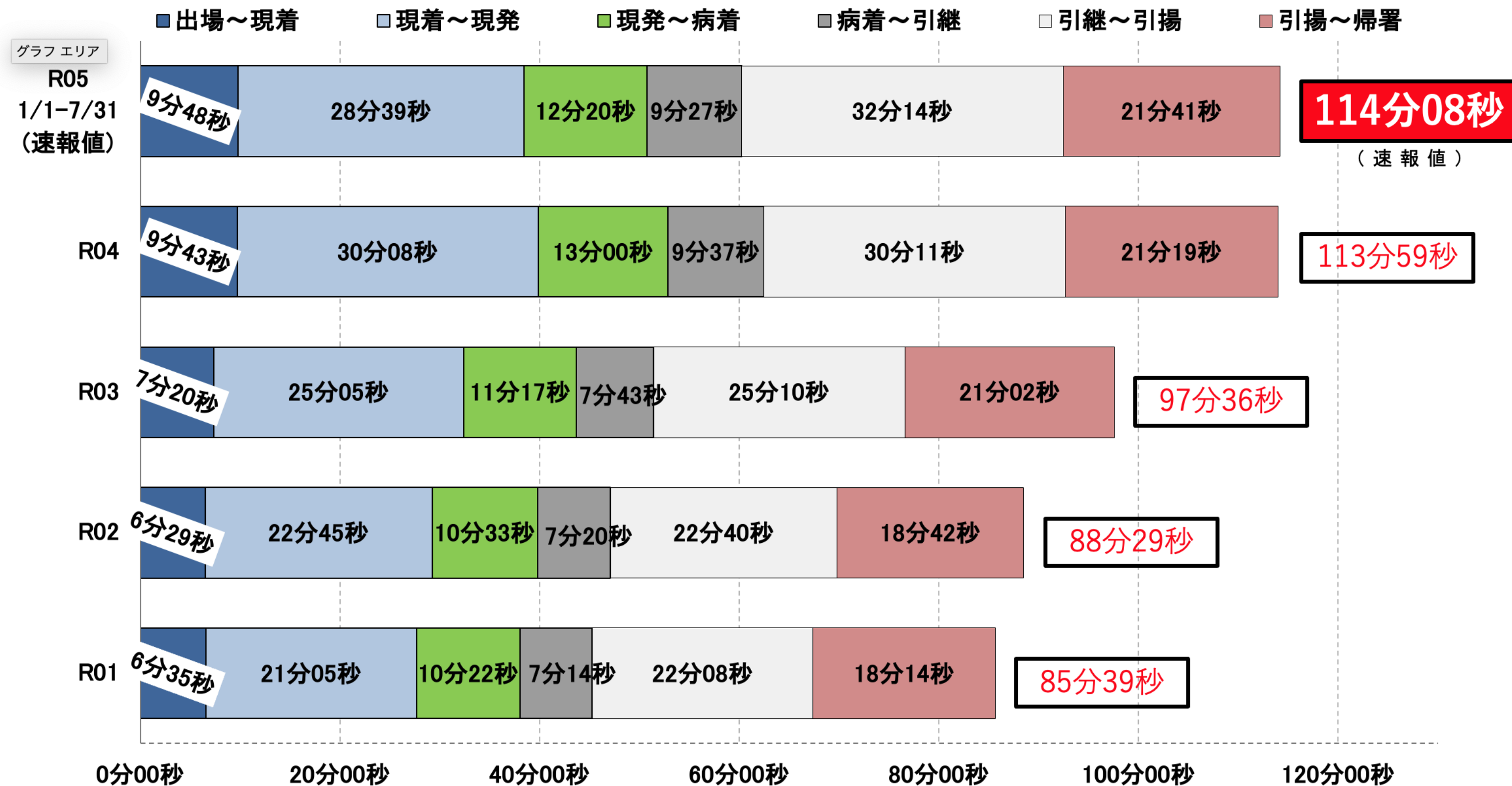


過去最多を更新

救急隊の活動時間

東京消防庁の救急活動時間の推移（出場～帰署）

令和5年9月
東京消防庁



※各区分毎に四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

活動時間が
長くなっている

新型コロナウイルス感染症のための病床確保

- 通常医療と感染症医療は分けて対応する必要がある
- 新型コロナウイルス感染症用の病床を確保＝通常医療を制限し対応してきた
- 現行制度は令和5年9月末まで（10月以降は感染拡大時に限定）
- 今後も東京都においては通常医療需要が増加する見込み

医師の働き方改革

- 医師の働き方改革 2024年4月から
- 休日夜間の救急医療の人材不足（時間外労働で担っていた）
- 東京都では休日夜間の救急医療に影響が出る可能性がある
 - 救急隊を要請しても今までのようには来ない
 - 救急隊が到着しても搬送先がなかなか見つからない

サーージキャパシティとしての 危機対応施設



サージキャパシティとしての危機対応施設

- 今後も感染拡大を繰り返す
- 通常医療を確保するために感染拡大時に備えた対応が求められる
- サージキャパシティとしての医療施設
 - ✓ サージ (Surge)、うねり、波のように押し寄せる
 - ✓ 瞬間的に増加する医療 (感染症パンデミック、大規模災害)

サージキャパシティとしての危機対応施設

サージキャパシティとしての危機対応施設

- 発生時の速やかな対応

トレーニングセンター

- 感染症や災害対応の訓練

□ 逼迫する救急医療

□ サージキャパシティとしての危機対応施設